

## ■兄弟対決に注目。9月28日、東京農業大VS帯広畜産大戦

第51回北海道学生アメリカンフットボール選手権第6節が9月28日（日）、札幌市円山競技場で行われる。優勝争いの行方を占う北海学園大ー北海道大戦（午後1時開始）とともに注目が、兄弟選手が直接対決する東京農業大ー帯広畜産大戦（午前10時開始）だ。

帯広畜産大のRB/LB安澤十野（あんざわ・とおや）＝3年＝と東京農業大のRB/LB安澤功野（あんざわ・かつや）＝2年＝が激突する。東京農業大はここまで3敗、帯広畜産大は1分け2敗。両チームにとり1部残留をかける重要な試合でもある。

高校まではともに剣道で腕を磨いた安澤兄弟。兄の十野は帯広南町中で全道3位、帯広柏葉高では全十勝大会の個人で4季連覇した。弟の功野は剣道の名門・北海道栄高（白老町）で全道高校3位と活躍した。「球技にあこがれていた」と、十野が大学でアメリカンフットボールを始めると、功野も「兄の影響」とアメフトに挑戦した。



十野は163センチ、78キロの鍛え込んだ体と脚力で2023年の新人賞に輝き、今季は攻守でチームの中心選手の1人になった。前年優勝の北海学園大戦ではRBとQBも務め、北海道大戦では90ヤードを力走。釧路公立大戦では値千金のインターセプトも決めた。兄弟対決については「普段はラインで助言もしているが、試合は別。兄にはかなわない、と思わせるプレーを見せる」と決意する。

功野は163センチ、66キロ。第4節の室蘭工業大戦では、IフォーメーションのFBに加えてチーム事情からDBにも入り、シーソーゲームの中で持ち味のスピードを生かしたプレーを連発した。兄との対決を前に「タックルを意識してチームに貢献したい。兄のダイブもがっちと止める」と宣言した。  
(塚田博)

#### 【写真】

両チームが試合を行った第3節、試合後に笑顔で言葉を交わす安澤十野(左)と功野